

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業		
自治体(団体)事業名	食のイベント「オイ丼グランプリ2016」		
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名
	東彼杵町	まちづくり課	中山 雄一
事業期間	開始年	平成28年12月1日 (1年目)	
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]		
実施期間	(開始日) 28年12月1日 (完了日) 29年3月31日		
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)
	株式会社 アド長崎新聞佐世保支社	深水 稔	0956-37-1400
(委託内容)	※別添① 見積書記載のとおり		
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)	
	町内住民のみならず長崎・福岡・佐賀及び県外の住民	食のイベントを通じて、東彼杵町の特産品を県内外にPRするとともに、地域の商店の活性化や交流拡大を図る。	
助成事業の具体的な内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	平成28年12月1日～平成29年2月28日の3か月間、東彼杵町内の協賛飲食店7店舗においてオリジナルの丼メニューを提供し、東彼杵町内の特産品を広くPRする食のイベントを実施した。		
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) 平成26、27年度に同様の事業を実施し、町内外で好評だったことからさらなる食の魅力を発信することで交流人口及び消費拡大を図るもの。		
	(経緯・現状) 平成26年度まで食に特化したイベントが少なく、町内の農水産物をPRする機会がなかった。そのため、町内飲食店が地元特産品を材料に使って創作したオリジナルの丼メニューを提供し、食の魅力のPRと消費拡大を目指すため「オイ丼グランプリ」を開催した。本年度も事業の継続によるさらなる交流人口拡大を図るため「オイ丼グランプリ2016」を企画・実施した。		

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算		前年度決算		当該年度決算			
事業費 (円)					726,777				
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金					363,388			
	一般財源					363,389			
(成果活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	町内協賛店舗数	協賛する町内店舗の数	店	目標				8
					実績				7
					目標達成率 (%)				87.5
	②				目標				1,500
					実績				1,261
					目標達成率 (%)				84

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価			
	(公益性)	(必需性)	必需 (+)	
	<input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス	<input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス	私益 (-)	
	<input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス	<input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス	公益 (+)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	選択 (-)	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響	
	妥当性低い (-)	妥当性高い (+)	(影響内容、程度等)	
	<hr style="width: 100px; border: 0; border-top: 1px solid black; margin: 0; height: 0;"/> 		イベントの定着並びに食の魅力を観光資源としてPRするために は継続が不可欠である。廃止、休止すれば食の魅力のPR機会が奪 われ、町全体の認知度向上や交流人口の拡大に悪影響を及ぼす。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果（活動）指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標を下回った		参加店舗数は昨年同様7軒を確保できたが、来客数が昨年を下回ったため。
	(2) 成果（活動）指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
効率性の点検	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) SNSのさらなる活用や関連イベントの追加により、期間中のPR強化を図る必要がある。	
	実施予定期日	H29年度	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的な内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		将来的には飲食店主催のイベント開催を実現できるようになりますが、現時点では行政主導でイベント効果をさらに高め、飲食店のモチベーションを高める必要がある。
効率性の点検	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施（予定）時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input checked="" type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input type="checkbox"/> 現状維持
実施予定期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定期					
具体的な内容	協賛飲食店や関連イベント、関連サービスをさらに充実させ、顧客満足度を高める必要があります。				